

# 「令和元年度外部点検結果」に基づく対応

令和元年 2 月

福 井 市

## 目 次

	総括表	P3
1	園芸総合振興事業 施設園芸普及拡大事業 園芸作物ブランド化事業	P4
2	国内観光誘客事業 インバウンド推進事業	P6
3	マーケット開発支援事業 繊維産業稼ぐ力向上事業	P7
4	一乗谷ブランドイメージ向上事業 まちなか滞在拠点化事業 越前海岸体験・体感観光推進事業 五感に響く体験・交流型観光推進事業 周遊滞在型広域観光推進事業	P8
5	U・Iターン就職促進事業	P9
6	有害鳥獣対策事業	P10
7	商店街活性化支援事業	P11
8	福井フェニックスまつり・ふくい春まつり開催事業	P12

令和元年度 外部点検結果に基づく対応（総括）

	事業名	外部点検結果	対 応
1	園芸総合振興事業/施設園芸普及拡大事業/園芸作物ブランド化事業  (農政企画課/園芸センター)	市の方針について、支援のあり方、園芸のあり方を見極める必要がある。	現場の実情を知る新規園芸農家などのご意見をいただきながら、市の方針である農業活性化プランの改訂を進めている。プラン策定後は、ホームページだけでなく、出前講座などの機会を利用して、市民にPRしていく。
		市の方針を市民にもっとPRを。	
		支援してほしい人の発掘を。	専ら農業で生活できると市が認定した農業者に対し、ヒアリングの機会を活かして、要望を拾い上げていく。
		事前支援、ハード整備、事後支援と、連続的な支援を。	指導・助言をふまえて作成された営農計画に沿ったハード整備に対して支援している。また、整備後のヒアリング、状況確認など、連続的に支援する。
		特産品（金福やきゃろふく）を市民が実際に味わって、おすすめする流れが必要。	金福・銀福については県内流通も多いため、市民へのPRに努める。きゃろふくについては、生産量が少ないため、まずは種子の増産や機械化を支援して生産量を増やす。どちらもまだ知名度が低いので、PR活動により知名度向上を図る。
		ブランド価値を上げ、若者が農業に携わるきっかけにつながる技術の導入、検討、波及を。	ポスト金福の育成、スマートアグリの導入、データを活用したマニュアル作成、有望品目の選定のための試験研究を行う。
2	国内観光誘客事業/インバウンド推進事業  (おもてなし観光推進課/国際室)	ターゲットを明確にし、県と連携して金沢とは違う魅力を。	福井の魅力である宗教や歴史、恐竜などを県と連携し、独自の魅力をこれからも発掘し発信する。
		新幹線開業を迎え、アクションを加速してほしい。特に、店のインバウンド対策などソフト対策。	指さしシートの配布、多言語翻訳ガイドラインの公開、飲食施設の多言語化への補助などを進める。
		海外からの観光客の移動手段としては、レンタカーが有効だと思うので、検討してほしい。	レンタカーを活用した事業の導入について、助成以外の手段も含め、検討する。
		福井市のエリアは、旅行者や海外から見れば狭い。広域的な視点で連携してほしい。	訪日外国人観光客へのPRでは、「福井市」ではなく、「福井」のPRという視点で行っていく。
		福井の位置をしっかりとPRしてほしい。	「京都と石川の間」という案内をしているが、認知度が低い。位置も含め福井の知名度向上に努める。
3	マーケット開発支援事業/繊維産業稼ぐ力向上事業  (商工振興課)	複雑な補助制度であるため、財政年数の長い専門的な職員を配置することが必要。	職員の専門性を高めるため、引継時におけるマニュアルの質の向上などに取り組む。
		補助制度の対象として、もっと小さい企業を拾い上げてほしい。	ホームページに用途ごとの補助制度一覧を掲載し、小規模企業を含め広く認知してもらえるようにする。
		小さい企業に対しては、海外よりも国内でもっと販路拡大ができるような施策が必要。	メーカーと事業者をつなぐプラットフォームを構築し、小規模事業者も恒常的に商談機会を持てる環境を整備する。
		申請の方法はもっとわかりやすく。国・県・市・商工会議所のすみ分けがわかるように。	国・県・市・商工会議所それぞれの支援制度の説明ができるように、共有ネットワークを構築する。
		就職希望者数の増加につながるように、市民対象の展示会が必要。	「テクノフェア」において、より市民に向けたブースの導入を推奨していく。
4	一乗谷ブランドイメージ向上事業/まちなか滞在拠点化事業/越前海岸体験・体感観光推進事業/五感に響く体験・交流型観光推進事業/周遊滞在型広域観光推進事業 (おもてなし観光推進課)	ターゲットを絞って、イベントを実施するとよい。	ファミリー層や女性客へのアプローチのため、宝探し・係留バルーンのほかインスタ映えする場所を創り出す企画を進める。
		恐竜博物館を見て、一乗谷を訪れてもらうというコースもよい。	恐竜博物館を含めた県内観光地を周遊するコースについて、県のワーキンググループの議論を注視していく。来年度以降、ふくい嶺北連携中枢都市圏においても協議を進めていきたい。
		県外用の福井の写真集で素晴らしいものを作成している。活用していった欲しい。	商談会や旅行会社への営業だけでなく、首都圏主要駅でのPRキャラバンでも活用する。
		「宿泊は福井で」という意識を市民・県民に持ってもらえるようにしていけないといけない。	福井のすばらしい場所・風景・食を市民に知ってもらうため、観光おもてなし市民運動を継続し、市民の機運醸成を図る。
		足羽山には継体天皇や豊かな自然などたくさん魅力があるので、もっと発信してほしい。	散策マップの作成のほか、桜まつり、「足羽山アソブLab」の活動、ポータルサイト、魅力向上計画の取組を通し、PRする。
5	U・Iターン就職促進事業  (しごと支援課)	福井で働く、生活する魅力を発信するコンテンツを大学生に話題になるようなものにする。	「魅える化プロジェクト」や「週末就活」への参加を通し、福井で働くことや生活することの魅力を発信している。
		プロジェクトチームなどを作って、力強く展開していった方がいい。	市東京事務所のほか、県Uターンセンターとも連携を図っている。庁内移住関係所属会議により、情報共有を図る。
		複数の企業で学ぶことができる機会を提供する。	サマーキャンプや企業訪問ツアーでは、異なる業種の企業に複数回訪問することで、市内企業で働くことの理解の浸透を図る。
		中高生のうちから、ふるさとへの愛着を高めていく必要がある。	福井での就職を考えてもらうきっかけにするために、企業パンフレットのコンテストを、市内の高校・大学で実施した。
		目標値を、税収などの経営的な観点で設置する。	経営面の目標値を設定することは困難だが、事業の収支状況を考慮した実施など、可能であれば導入を促進していく。
6	有害鳥獣対策事業  (有害鳥獣対策室)	集落などの地域力を高めるため、住民への指導や教育、研修で、意識の転換を図る必要がある。	説明会や出前講座等の機会に、集落全体での協議会の設立を促す。放任果樹の撤去、藪の刈払いなど生息環境対策を啓発する。
		被害額の目標設定は、長期的にはゼロに。	被害の多い集落の対策を検証し、額の削減に努める。侵入防止柵の支援や捕獲などで、長期的にゼロを目指す。
		ジビエの流通は、グループ単位の規模から展開してはどうか。	シカ、イノシシの加工施設について、小規模でも設置を考えているグループ等があれば支援する。
		シカ、サル対策も後手に回らないように。	シカ用の侵入防止柵の支援や、サルの群れ調査など、被害防止に努める。大型サル檻を導入している事例を研究する。
		ごみステーションについて、カラス対策のため関係課に指導・補助するよう働きかけを。	カラスのエサ対策として、ごみステーションの適正な管理を、関係所属を通じて働きかける。
7	商店街活性化支援事業  (商工振興課)	やる気のある人に補助したり、商店街の合併を促したり、やり方を変えなくては。	連合会に魅力ある個店をPRする取組があるので、支援を強化する。また、合併の意思がある商店街をサポートする。
		まつりに商店街ごとのブースを作るような取り組みが必要。	まつりの協賛行事として、各商店街がイベントを実施しているので、今後もイベント開催を支援する。
		商店街加盟のメリットを示すものや伝える機会を。	商店街加盟のメリットを商店街を通じて発信していく。
		駐車場の確保のために支援できないか。	県の補助制度を活用しながら支援していく。
		店のシャッターをあけておくだけでも、子どもの通学路などの安全貢献になる。	意欲のある担い手や魅力あるテナントの呼び込みを支援することで、賑わいのある商店街を作り、子どもの安全につなげる。
		商工振興課としてはソフト面の支援を行っては。	他部局の支援は、商店街が主体ではない場合もある。商店街の利便性を高める事業を、ハードも含め引き続き支援する。
8	福井フェニックスまつり/ふくい春まつり開催事業  (商工振興課/おもてなし観光推進課)	マンネリ化しないように。	今年度、「子ども水まつり」など体験・参加型イベントを実施したように、新たなイベントを取り入れ、既存行事を工夫・改善する。
		実行委員会の開催が遅いのでは。	(夏)実行委員会の時期は、予算のスケジュールを踏まえて設定している。担当者間連携を綿密にし、円滑な実施を図る。 (春)来年に向けた実行委員会を8月に早めて開催し、概要の方針を決定。商談会やイベントで早い段階からPRしている。
		「はたちのつどい」のメンバーを実行委員会に加えては。	「はたちのつどい」の方々を含め若い方の意見を取り入れて、まつりの魅力向上につなげる。
		飛び入りで浴衣を着るコーナーがあるとよい。	着付けや浴衣の貸出を協力していただける方と協議し、実施に向け検討する。
		商工会議所よりも市主導で。	商工会議所は大切なパートナーだと考えており、今後も相互の役割や強みを活かして、まつりを実施したい。
		パンフレットにクーポンをつけるといい。	商工会議所やコンベンションビューローと協議を進め、今後考えていきたい。
		各地区の祭りは趣向を凝らしているので、研究して。	各地区のまつりの実施者の意見を聞き取り、まつりの魅力向上につなげる。

## 令和元年度外部点検結果に基づく対応

### 01 園芸総合振興事業、施設園芸普及拡大事業、園芸作物ブランド化事業

（農林水産部農政企画課、園芸センター）

#### 1．事業概要

事業目的	<p>（園芸総合振興事業）</p> <p>本市の農業は、稲作を中心として発展してきたが、農業経営的に厳しい状況が続いているため、稲作より収益性の高い園芸を推進し、農業所得を維持・増加させることが必要となっている。</p> <p>「農業活性化プラン」の基本方針においても園芸分野の生産拡大を進めており、園芸の生産量が確保できる体制を整える必要があるため、担い手農家や新たに園芸に取り組む農家の規模拡大に必要な施設や農業機械等の整備を支援する。</p> <p>（施設園芸普及拡大事業）</p> <p>本市農業の中心である稲作は、米価の低迷により経営環境が厳しくなっているため、園芸作物の導入や生産規模拡大、経営の複合化を進める。</p> <p>（園芸作物ブランド化事業）</p> <p>農家所得向上を図るために、本市の園芸作物である金福すいか、銀福すいか、越前水仙、オリーブのブランド化を進める。</p>																													
事業概要	<p>（園芸総合振興事業）</p> <p>園芸の生産量が確保できる体制を整えるため、担い手農家や新たに園芸に取り組む農家の規模拡大に必要な施設や農業機械等の整備を支援する。</p> <p>（施設園芸普及拡大事業）</p> <p>金福すいか、銀福すいか、越前水仙、サラダのヒロインきゃろふくといった本市独自の品目と直売所で不足する花卉を普及する。</p> <p>（園芸作物ブランド化事業）</p> <p>県内外への販路拡大を行うとともに、市民へのPR活動による消費拡大を図る。</p>																													
30年度 事業実績	<p>（園芸総合振興事業）</p> <table><tr><td>水田農業園芸導入事業</td><td>5件（農業機械、栽培施設）</td></tr><tr><td>新規園芸産地育成事業</td><td>2件（パイプハウス 3棟、農業機械、栽培施設）</td></tr><tr><td>自然光利用型の連棟ハウス整備事業</td><td>1件（鉄骨大型ハウス 2棟） H31年度繰越</td></tr><tr><td>園芸産地広域拠点整備事業</td><td>1件（集出荷予冷施設） H31年度繰越</td></tr><tr><td>ステップアップ事業</td><td>1件（パイプハウス 1棟）</td></tr></table> <p>（施設園芸普及拡大事業）</p> <table><tr><th>事業名</th><th>実績</th></tr><tr><td>地場農産物出荷向上</td><td>5月咲のスターチス直売所好調で農家所得向上に寄与 3月咲は花の少ない12月～3月の販売で品目充実、農家所得向上</td></tr><tr><td>金福・銀福すいか</td><td>販売個数 10,079 個、初めて 1 万個突破</td></tr><tr><td>サラダのヒロインきゃろふく</td><td>栽培面積 21a、販売量 2.5t</td></tr><tr><td>越前水仙</td><td>城有町地籍水仙畑 33.8 アール復旧</td></tr></table> <p>（園芸作物ブランド化事業）</p> <table><tr><th>事業名</th><th>実績</th></tr><tr><td>金福・銀福すいか</td><td>新規 日本橋三越本店 180 個 継続 オイシックス 1,292 個 紀ノ國屋 40 個</td></tr><tr><td>果樹</td><td>園芸センターにおいて、特産化に向けての技術的支援に必要な栽培試験（仕立て方法、施肥等）を行うための体制を整備</td></tr><tr><td>販売先へのPRや消費拡大 及び生産者に対する出荷要請</td><td>福福館へ来館した市民、県民、観光客に対する認知度の向上 学校給食提供と出前授業で、児童の興味とPRに繋がった</td></tr></table>		水田農業園芸導入事業	5件（農業機械、栽培施設）	新規園芸産地育成事業	2件（パイプハウス 3棟、農業機械、栽培施設）	自然光利用型の連棟ハウス整備事業	1件（鉄骨大型ハウス 2棟） H31年度繰越	園芸産地広域拠点整備事業	1件（集出荷予冷施設） H31年度繰越	ステップアップ事業	1件（パイプハウス 1棟）	事業名	実績	地場農産物出荷向上	5月咲のスターチス直売所好調で農家所得向上に寄与 3月咲は花の少ない12月～3月の販売で品目充実、農家所得向上	金福・銀福すいか	販売個数 10,079 個、初めて 1 万個突破	サラダのヒロインきゃろふく	栽培面積 21a、販売量 2.5t	越前水仙	城有町地籍水仙畑 33.8 アール復旧	事業名	実績	金福・銀福すいか	新規 日本橋三越本店 180 個 継続 オイシックス 1,292 個 紀ノ國屋 40 個	果樹	園芸センターにおいて、特産化に向けての技術的支援に必要な栽培試験（仕立て方法、施肥等）を行うための体制を整備	販売先へのPRや消費拡大 及び生産者に対する出荷要請	福福館へ来館した市民、県民、観光客に対する認知度の向上 学校給食提供と出前授業で、児童の興味とPRに繋がった
水田農業園芸導入事業	5件（農業機械、栽培施設）																													
新規園芸産地育成事業	2件（パイプハウス 3棟、農業機械、栽培施設）																													
自然光利用型の連棟ハウス整備事業	1件（鉄骨大型ハウス 2棟） H31年度繰越																													
園芸産地広域拠点整備事業	1件（集出荷予冷施設） H31年度繰越																													
ステップアップ事業	1件（パイプハウス 1棟）																													
事業名	実績																													
地場農産物出荷向上	5月咲のスターチス直売所好調で農家所得向上に寄与 3月咲は花の少ない12月～3月の販売で品目充実、農家所得向上																													
金福・銀福すいか	販売個数 10,079 個、初めて 1 万個突破																													
サラダのヒロインきゃろふく	栽培面積 21a、販売量 2.5t																													
越前水仙	城有町地籍水仙畑 33.8 アール復旧																													
事業名	実績																													
金福・銀福すいか	新規 日本橋三越本店 180 個 継続 オイシックス 1,292 個 紀ノ國屋 40 個																													
果樹	園芸センターにおいて、特産化に向けての技術的支援に必要な栽培試験（仕立て方法、施肥等）を行うための体制を整備																													
販売先へのPRや消費拡大 及び生産者に対する出荷要請	福福館へ来館した市民、県民、観光客に対する認知度の向上 学校給食提供と出前授業で、児童の興味とPRに繋がった																													

	栽培期間中、毎週巡回指導及び収穫時期に出荷要請し出荷量増加
--	-------------------------------

#### 2．外部点検の結果

提案内容	<p>（市の方針） 園芸に対する市の方針について、客観的な視点からの見直しや検討し、行政の支援のあり方や、園芸のあり方を見極めることが必要。 園芸に対する市の方針について、もっと市民に対してもPRしていった欲しい。</p> <p>（支援内容） 支援して欲しい人の発掘に努力してほしい。 支援は、事前の支援、具体的なハード整備、そして事後と、連続的に行って欲しい。</p> <p>（特産品） 特産品（金福やきゃろふくなど）について、市民が実際に入手して味わって、そしておすすめするという流れが必要。</p> <p>（技術導入） ブランド価値をあげるためや、若者が農業に携わるきっかけの推進につながるような技術の導入、検討、波及を進めていったほしい。</p>
------	---

#### 3．外部点検結果に基づく対応

提案を踏まえた具体的な取組内容	<p>園芸に対する市の方針としては、「福井市農業活性化プラン」に示している。今年度が改訂の年にあたり、その内容を検討する策定部会の委員として新規園芸農家の方に入ってもらい、現場の実状に基づくご意見をいただいている。改訂版が完成した後は、市のホームページに掲載してPRするだけでなく、出前講座などの機会を利用するなどして、市民に対するPRを強化していく。</p> <p>新たな支援希望者の掘り起こしについては、これまでの年1回の要望調査だけでなく、専ら農業で生活できると市が認定した農業者に対し、ヒアリングの機会を活かして要望の拾い上げを行っていく。</p> <p>事前の支援として営農計画の作成に対し指導・助言をしており、その計画に沿ったハード整備に対して支援を行っている。また、ハード整備後もヒアリングを行っているが、これに加えて四半期に1回程度現地の状況確認を行っていく。</p> <p>金福、銀福すいかは、販売個数の約8割が福井中央卸売市場や農産物直売所等の県内流通であるため、市民が入手しやすい環境となっている。今後も優良苗供給や農家指導を徹底などの生産活動とともに市民へのPR活動に努め、市民が手に取りやすい環境を整えていく。</p> <p>きゃろふくは、販売量の大半が福井中央卸売市場や農産物直売所の県内流通となっている。ただし、生産量が少ないため、市民が気軽に入手できる状況となっていない。そのため、まずは生産量を増加させるために、種子生産量の増産、栽培工程の機械化といった支援を行っていく。</p> <p>金福、銀福すいか、きゃろふくも、まだ知名度が低いことから、PR活動を積極的に行い、知名度向上を図っていく。</p> <p>ブランド価値向上を図るため、金福すいかの欠点を解消した後継品種の育成を行っている（ポスト金福）。早い完成を目指して、試験研究を進める。</p> <p>若者などの技術が未熟な新規就農者が、スムーズに園芸に取り組むことができるように、栽培をマニュアル化できるスマートアグリを積極的に導入していく。そのために、職員の技術及び知識向上を図るために、先進地視察や研究機関での研修を行う。また、スマートアグリを導入に向けて、栽培データを集積するために、園芸センターや生産現場でのデータ測定する機器を設置し、そのデータを活用したマニュアル作成を行う。</p> <p>新たな特産農産物を創出するために、有望な品目（野菜・果樹）の選定に向けた試験研究を行う。</p>
-----------------	--

4 . 当初予算額

( 単位：千円 )

予算額	令和 2 年度		令和元年度		増減
	園芸総合振興事業	43,474	園芸総合振興事業	22,480	20,994
	その他補助金	43,474	その他補助金	22,480	20,994
	合計	43,474	合計	22,480	20,994

予算額	令和 2 年度		令和元年度		増減
	園芸普及拡大事業	8,978	施設園芸普及拡大事業	7,026	1,952
	報酬	5,077	報酬	4,837	240
	需用費	130	需用費	129	1
	使用料及び賃借料	282	使用料及び賃借料	176	106
	原材料費	1,164	原材料費	1,485	321
	負担金補助金及び交付金	511	負担金補助金及び交付金	225	286
	委託料	460	委託料	174	286
	備品購入費	1,354			1,354
	園芸作物ブランド化事業	510	園芸作物ブランド化事業	648	138
	旅費	56	旅費	80	24
			使用料及び賃借料	178	178
			委託料	390	390
	印刷製本費	445			445
	負担金補助金及び交付金	9			9
	合計	9,488	合計	7,674	1,814



## 令和元年度外部点検結果に基づく対応

### 02 国内観光誘客事業、インバウンド推進事業

( 商工労働部観光文化局おもてなし観光推進課・国際室 )

#### 1 . 事業概要

事業目的	東京オリンピック、北陸新幹線福井開業、中部縦貫道県内全線開業など、観光誘客に向けた絶好の機会が訪れている。訪日外国人観光客も増加しており、国全体で、海外からの誘客に向けた取り組みが行われている。 この好機を捉え、旅行代理店などの旅行業関係者に向けた営業活動を行うとともに、一般人向けにも観光 P R を実施し、観光誘客を増大させることで地域の活性化を図る。
事業概要	旅行代理店等への営業活動事業、出向宣伝 インバウンドの推進に向けた PR 市内の観光施設や商業施設における受入環境の整備
30 年度 事業実績	観光客入込数（市内） 平成 30 年実績 419 万人 外国人延べ宿泊者数（市内） 平成 30 年実績 22,800 人

#### 2 . 外部点検の結果

提案内容	（福井の魅力） 観光戦略としてターゲットを明確にし、県と連携して、金沢とは違う福井の魅力をもっと強調して いって欲しい。 （新幹線開業） 新幹線開業を間近に迎え、アクションを加速して行って欲しい。特に、お店のインバウンド対策な ど受入側のソフト対策を急いで行っていく必要がある。 （レンタカー） 海外からの観光客の移動手段としては、レンタカーが有効だと思うので、検討して行って欲しい。 （広域の視点） 福井市のエリア、旅行者や海外からの目線で見れば狭い。広域的な視点で連携して行って欲しい。 福井の位置が知られていないのはやはり寂しいので、しっかりと P R してほしい。
------	--

#### 3 . 外部点検結果に基づく対応

提案を踏 まえた具 体的な取 組内容	今年度、観光振興計画を 1 年度前倒しでの策定を進めている。金沢とは違う福井の魅力である宗 教や歴史、恐竜などを県と連携し、福井の魅力発信に努めて行く。 金沢とは違った福井の魅力についての PR 手法として例えば、金沢の兼六園は日本三大庭園の一つ で一見の価値があるという説明をしつつ、規模感が違うが、福井の養浩館庭園は、建物の中から庭 園全体を見渡すことができるため、建物と庭園が融合しているという点でアメリカの専門雑誌など で非常に高く評価されている、というような説明をするなどしている。このように、規模だけでは 計れない福井独自の魅力をさらに発掘し、発信していく。  北陸新幹線福井開業を見据え、おもてなしの機運醸成を高めるとともに、県外のお客様をお迎え する体制の整備を加速化させる。 お店のインバウンド対策としては、指さしシートの配布や多言語翻訳ガイドラインの公開などを 実施してきたほか、飲食施設等のメニューやパンフレット、看板等を多言語化する際の補助事業を 行っている。
-----------------------------	--

しかし、外国人観光客があまり来ていない店舗ではインバウンド対策の重要性の認識が進まず、 受入環境整備が進んでいない現状もある。そのため、個別店舗にインバウンド対策の必要性を説明 の上、中心市街地の店舗を中心に補助事業の活用やインバウンドセミナー開催案内等を行っている。 今後は、全市域に範囲を広げて取り組んでいく。  訪日外国人観光客のうち、現在約 1 割の方がレンタカーを利用しているが、この数字は年々上昇 しており、また、福井市でも福井駅に外国人観光客が入った後の交通手段として、レンタカーが有 効であるという認識はしている。 しかし、外国人のレンタカー手配方法は様々であるので、レンタカーの助成制度が、ターゲット である訪日外国人の来福の増加につながるように、制度設計の研究が必要である。 助成事業以外の手段も含め、北陸新幹線の開業までに、何らかの形でレンタカーを活用した誘客 事業の導入を検討していく。  訪日外国人観光客への PR では、東京やセントレア、関空から入った後の旅行の流れの一環の中で 福井の観光を PR している。PR を行うときも、「福井市」のエリアに限った PR ではなく、「福井」の PR という視点で行っている。  福井の位置を紹介する際には、京都と石川の間という案内をしているが、まだまだ場所の認知度 が低い。県外観光客が観光する際には、点よりも面を重視するので、位置も含めて広く福井の知名 度向上に努める。
--

#### 4 . 当初予算額

( 単位：千円 )

予算額	令和 2 年度		令和元年度		増減
	観光誘客事業	40,658	観光誘客事業	3,929	36,729
	旅費	985	旅費	868	117
	消耗品費	275	消耗品費	606	- 331
	郵便料	9	郵便料	9	0
	委託料	38,923	委託料	2,191	36,732
	使用料及び賃借料	450	使用料及び賃借料	36	414
	備品購入費	0	備品購入費	22	- 22
	負担金、補助金	16	負担金、補助金	197	- 181
	合計	40,658	合計	3,929	36,729

予算額	令和 2 年度		令和元年度		増減
	インバウンド推進事業	4,474	インバウンド推進事業	4,640	-166
	報償費	85	報償費	130	-45
	旅費	266	旅費	572	-306
	消耗品費	58	消耗品費	33	25
	印刷製本費	83	印刷製本費	28	55
	郵便料	99	郵便料	18	81
	委託料	1,710	委託料	1,300	410
	使用料及び賃借料	75	使用料及び賃借料	31	44
	負担金、補助金	2,098	負担金、補助金	2,528	-430
	合計	4,474	合計	4,640	-166

## 令和元年度外部点検結果に基づく対応

### 03 マーケット開発支援事業、繊維産業稼ぐ力向上事業

(商工労働部商工振興課)

#### 1. 事業概要

事業目的	<p>&lt;マーケット開発支援事業&gt;</p> <p>地域経済の活性化を図るため、研究開発から販路開拓まで、企業の様々な事業活動を一連のステージに応じて支援するとともに、本市産業への波及効果が見込まれる新事業の創出を促進する。</p> <p>今年度からは「ふくい嶺北連携中枢都市圏」における圏域の経済発展を牽引するため、市内企業と連携中枢都市圏内の企業が連携して行う新たな取組に対して支援をする。</p> <p>&lt;繊維産業稼ぐ力向上事業&gt;</p> <p>本市の基幹産業である繊維産業の成長を促進し、より強固な地盤を築くことを目指し、平成 29 年度より地方創生推進交付金を活用しながら、産学官金連携のネットワークを形成し、市場拡大が見込まれる成長分野である農業（園芸）分野への進出や、主戦場である衣料分野における国内外の販路開拓の強化に取り組んでいる。</p>																																																		
事業概要	<p>&lt;マーケット開発支援事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新製品や新技術、新サービスの開発にかかる費用の一部を補助</li><li>・新事業の創出から販路開拓にかかる費用の一部を補助</li><li>・中小企業団体における販路開拓や人材育成にかかる費用の一部を補助</li></ul> <p>&lt;繊維産業稼ぐ力向上事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・繊維技術を活かした農業（園芸）分野での新技術、新製品開発費用の一部補助</li><li>・国内有名アパレルに向けた展示会に対する費用の一部補助</li><li>・海外アパレルとのマッチング支援を実施</li><li>・海外市場動向調査や海外展示会出展費用の一部を補助</li><li>・事業推進のための産学官金ネットワーク運営</li></ul>																																																		
30 年度 事業実績	<p>&lt;マーケット開発支援事業&gt;</p> <table><tr><th>事業名</th><th>H30 実績</th><th>H30 決算</th></tr><tr><td>ものづくり支援補助金（新製品開発支援補助金）</td><td>申請 1 件、採択なし</td><td>11</td></tr><tr><td>小規模企業者人材育成補助金</td><td>8 件</td><td>170</td></tr><tr><td>生産性向上設備投資支援補助金</td><td>6 件</td><td>3,900</td></tr><tr><td>先端設備導入計画の認定</td><td>新規 9 4 件、変更 1 6 件</td><td></td></tr><tr><td>新市場開拓補助金</td><td>1 6 件</td><td>4,588</td></tr><tr><td>グッドデザイン開発支援補助金</td><td>1 件</td><td>386</td></tr><tr><td>新事業創出支援補助金</td><td>H28.29 年度採択分 2 件</td><td>8,941</td></tr><tr><td>中小企業団体支援補助金</td><td>語学研修会等 7 件、展示会開催 2 件</td><td>4,579</td></tr><tr><td>合 計</td><td></td><td>22,575</td></tr></table> <p>&lt;繊維産業稼ぐ力向上事業&gt;</p> <table><tr><th>事業名</th><th>H30 実績</th><th>H30 決算</th></tr><tr><td>繊維新分野展開事業</td><td>H 2 9 年度採択の 2 件</td><td>7,544</td></tr><tr><td>国内アパレルメーカー販路開拓支援事業</td><td>出展企業： 1 0 社 成約件数： 6 件</td><td>4,540</td></tr><tr><td>海外向けテキスタイル販路拡大事業</td><td>出展企業： 4 社 成約件数： 6 件</td><td>3,000</td></tr><tr><td>海外市場動向調査支援</td><td>9 件</td><td>1,148</td></tr><tr><td>合 計</td><td></td><td>16,232</td></tr></table>			事業名	H30 実績	H30 決算	ものづくり支援補助金（新製品開発支援補助金）	申請 1 件、採択なし	11	小規模企業者人材育成補助金	8 件	170	生産性向上設備投資支援補助金	6 件	3,900	先端設備導入計画の認定	新規 9 4 件、変更 1 6 件		新市場開拓補助金	1 6 件	4,588	グッドデザイン開発支援補助金	1 件	386	新事業創出支援補助金	H28.29 年度採択分 2 件	8,941	中小企業団体支援補助金	語学研修会等 7 件、展示会開催 2 件	4,579	合 計		22,575	事業名	H30 実績	H30 決算	繊維新分野展開事業	H 2 9 年度採択の 2 件	7,544	国内アパレルメーカー販路開拓支援事業	出展企業： 1 0 社 成約件数： 6 件	4,540	海外向けテキスタイル販路拡大事業	出展企業： 4 社 成約件数： 6 件	3,000	海外市場動向調査支援	9 件	1,148	合 計		16,232
事業名	H30 実績	H30 決算																																																	
ものづくり支援補助金（新製品開発支援補助金）	申請 1 件、採択なし	11																																																	
小規模企業者人材育成補助金	8 件	170																																																	
生産性向上設備投資支援補助金	6 件	3,900																																																	
先端設備導入計画の認定	新規 9 4 件、変更 1 6 件																																																		
新市場開拓補助金	1 6 件	4,588																																																	
グッドデザイン開発支援補助金	1 件	386																																																	
新事業創出支援補助金	H28.29 年度採択分 2 件	8,941																																																	
中小企業団体支援補助金	語学研修会等 7 件、展示会開催 2 件	4,579																																																	
合 計		22,575																																																	
事業名	H30 実績	H30 決算																																																	
繊維新分野展開事業	H 2 9 年度採択の 2 件	7,544																																																	
国内アパレルメーカー販路開拓支援事業	出展企業： 1 0 社 成約件数： 6 件	4,540																																																	
海外向けテキスタイル販路拡大事業	出展企業： 4 社 成約件数： 6 件	3,000																																																	
海外市場動向調査支援	9 件	1,148																																																	
合 計		16,232																																																	

#### 2. 外部点検の結果

提案内容	<p>(職員の専門性)</p> <p>複雑で様々な補助制度があるため、在籍年数の長い専門的な職員を配置することも必要。</p> <p>(中小企業に対して)</p> <p>補助制度の対象として、もっと小さい企業を拾い上げて欲しい。</p> <p>海外向けの販路開拓は、小さい企業には難しいため、むしろ国内でもっと販路拡大できるような施策が必要。</p> <p>(申請)</p> <p>申請の方法はもっとわかりやすくして欲しい。国、県、市、商工会議所のすみ分けがわかるように。</p> <p>(市民への PR)</p> <p>市民対象の展示会なども必要。就職希望者数の増加にもつながる。</p>
------	---

#### 3. 外部点検結果に基づく対応

提案を踏 まえた具 体的な取 組内容	<p>特定の職員を長期に渡って配置することは難しい。しかし、市職員には経済産業省派遣経験を持つ職員が複数いる。時代の変化に伴う企業ニーズの多様化に対応するためにも、このような職員が定期的に入れ替わりながら様々な視点で産業政策を行うことも必要である。また、引継ぎをする際に、業務や課題の内容だけでなく背景や取組状況についてもマニュアルに入れ込むことでマニュアルの質が向上させ、職員の専門性も高めていく。</p> <p>現在の補助制度は小規模企業も対象としているが、補助制度そのものの認知度が低いと考える。本市のホームページにおいて用途毎の補助制度一覧を作成するなどわかりやすさを意識し、小規模企業も含め広く認知してもらい、補助制度の活用に結び付けていく。</p> <p>アパレルメーカーと繊維事業者をつなぐプラットフォーム（EC サイト）を構築し、小規模事業者も含めより多くの繊維事業者が恒常的にアパレルメーカーと商談機会を持ち販路拡大できる環境を整備する。</p> <p>国、県、市、商工会議所それぞれの支援制度について、どの関係機関においてもそれぞれの支援制度の説明ができるように共有ネットワークを構築し、手続きの時間の削減を図る。</p> <p>毎回多くのものづくり企業が出展する展示会「テクノフェア」において、より市民に向けたブースの導入を推奨していくなど、市民が参画しやすい展示会づくりを進めていく。</p>
-----------------------------	--

#### 4. 当初予算額

(単位：千円)

予算額	令和2年度		令和元年度		増減
	<マーケット開発支援事業>				
	新製品開発支援事業	2,000	新製品開発支援事業	2,020	20
	報償費	0	報償費	20	20
	負担金、補助及び交付金	2,000	負担金、補助及び交付金	2,000	0
	新事業創出支援事業	15,092	新事業創出支援事業	15,077	15
	報償費	92	報償費	77	15
	負担金、補助及び交付金	15,000	負担金、補助及び交付金	15,000	0
	中小企業団体補助事業	5,550	中小企業団体補助事業	5,550	0
	負担金、補助及び交付金	5,550	負担金、補助及び交付金	5,550	0
	<繊維産業稼ぐ力向上事業>				
	繊維新分野展開支援事業	9,863	繊維新分野展開支援事業	10,000	137
	報償費	1,303			1,303
	委託料	3,500			3,500
	負担金、補助及び交付金	5,000	負担金、補助及び交付金	10,000	5,000
	使用料及び賃借料	60			60
	販路開拓支援事業	6,000	販路開拓支援事業	9,000	3,000
	委託料	6,000	委託料	6,500	500
			負担金、補助及び交付金	2,500	2,500
	観光事業と連携した繊維産業の魅力発信事業	5,020			5,020
委託料	5,000			5,000	
使用料及び賃借料	20			20	
産学官金ネットワーク運営	343	産学官金ネットワーク運営	81	262	
報償費	241	報償費	81	160	
使用料及び賃借料	20			20	
旅費	82			82	
合計	43,868	合計	41,728	2,140	

令和元年度外部点検結果に基づく対応

04 一乗谷ブランドイメージ向上事業、まちなか滞在拠点化事業、越前海岸体験・体感観光推進事業、五感に響く体験・交流型観光推進事業、周遊滞在型広域観光推進事業

( 商工労働部観光文化局おもてなし観光推進課 )

1 事業概要

事業目的	まちなか・一乗谷・越前海岸の観光 3 拠点の魅力を向上させるとともに、体験型観光メニューの充実を図る。 また、他市町との連携による、広域的な周遊・滞在型の観光を推進する。			
事業概要		事業内容	事業期間	実施主体
		新たな客層を獲得するためにイベントの開催や情報発信を実施	平成 24 年度～	朝倉氏遺跡保存協会 他
		足羽山の魅力向上のために自然を活かしたイベントの開催	平成 28 年度～	森のほうかがっこう
		海水浴期間及びその他の季節における観光誘客のために地域の個性や特色を活かした観光まちづくりを促進	平成 24 年度～	越前海岸観光協会連 合会、鷹巣観光協会 他
		体験できる観光メニューを増やすために嶺北 11 市町の事業者を育成	平成 28 年度～	福井市、JR 西、福井商 工会議所
		広域的な周遊滞在型観光を推進するために隣接する永平寺町と連携	平成 29 年度～ 令和 4 年度	福井・永平寺周遊滞在 型観光推進委員会
30 年度 事業実績	別紙のとおり			

2 外部点検の結果

提案内容	( ターゲット ) ターゲットを絞り、区切ってイベントを実施するとよい。
	( 恐竜博物館との連携 ) 恐竜博物館を見て、一乗谷を訪れてもらうというコースもよい。
	( 写真集の活用 ) 県外用の写真集で素晴らしいものがある。インスタ映えする場所もあり、活用していったほしい。
	( 市民の意識 ) 福井に観光に来て金沢に宿泊しないように「宿泊は福井で」という意識をまずは市民・県民に持ってもらえるようにしていけないといけない。
	( 足羽山 ) 足羽山にはたくさんの魅力があるが、継体天皇のことや豊かな自然もあるので、もっと発信して欲しい。

3 外部点検結果に基づく対応

提案を踏 まえた具 体的な取 組内容	令和元年度から今まで遺跡を訪れることの少なかったファミリー層や女性客に対してアプローチするため戦国宝探し・熱気球係留バルーン・遺跡ヨガなどを初めて実施した。令和 2 年度においてもより多くの誘客を図るため、参加者が少なかった遺跡ヨガをやめ、インスタ映えする場所を創り出す企画を行う。
	恐竜博物館内に一乗谷朝倉氏遺跡のポスターや本市のパンフレットを設置している。現在、恐竜博物館の賑わいを周辺市町にも波及させるため県が中心となって恐竜博物館機能強化に向けたワーキンググループを開催しており、その中で県内主要観光地を周遊する案も議論されている。ワーキングの議論も注視しながら、まずはターゲット層が同様の、戦国宝探しなどのイベント周知を今年度より早めるなど徹底していきたい。また、ふくい連携中枢都市圏においても協議を進めていきたい。
	県外用の写真集「FUKUI CITY GUIDE」は福井を知らない方の多い大都市圏で主に使用する目的で制作している。商談会や旅行会社への営業だけでなく、首都圏主要駅での PR キャラバンなどでも活用し、福井の素晴らしい場所・風景を知ってもらえるよう、より一層務める。  「宿泊は福井」ということももちろんであるが、その前段として「福井には素晴らしい場所・風景・食などがたくさんある」ということを市民、県民自身に知ってもらうことが急務であると考えている。観光おもてなし市民運動の継続的な取り組みに加え、他部局の取組を含めいろんな機会を捉え市民への機運醸成を図っていく。  足羽山を散策するマップを作成し、その中で継体天皇を紹介しており、観光客を含めた多くの方に魅力を PR するための取り組みを行っている。ふくい桜まつりや足羽山アソブ Lab の活動、足羽山と周辺エリアのポータルサイト「足羽山へ行こう」、足羽山魅力向上計画の各種取組を通して、今まで以上に足羽山全体を PR していく。

4 当初予算額 ( 単位 : 千円 )

	令和 2 年度	平成 31 年度	増減
	一乗谷ブランドイメージ向上事業 13,779 旅費 427 委託料 13,352 まちなか滞在拠点化事業 0 越前海岸体験・体感事業 7,477 委託料 3,408 補助金 4,069 五感に響く体験・交流型観光推進事業 1,900 報償費 682 消耗品 30 委託料 1,028 使用料 160 周遊滞在型広域観光推進事業 2,335 補助金 2,335	一乗谷ブランドイメージ向上事業 14,174   まちなか滞在拠点化事業 2,000 越前海岸体験・体感事業 8,477   五感に響く体験・交流型観光推進事業 1,700   周遊滞在型広域観光推進事業 2,149	395   2,000 1,000   200   186
予算額	合計 25,491	合計 28,500	3,009



## 令和元年度外部点検結果に基づく対応

### 05 U・Iターン就職促進事業

(商工労働部しごと支援課)

#### 1. 事業概要

事業目的	大学生や県外在住の社会人に対し、企業訪問の実施や合同企業説明会の開催を通じて、U・Iターン就職を促進する。また、U・Iターン者を雇入れた市内中小企業を支援する。
事業概要	<p>大学生U・Iターン就職推進事業</p> <p>ふくいU・Iターンサマーキャンプ</p> <p>企業訪問や経営者との座談会、U・Iターン者との交流会などのプログラムを通し、アイデアプランを発表することで、福井で就職する強いイメージづくりを図る。</p> <p>企業訪問ツアー</p> <p>企業訪問では、実際の働く現場を確認し、若手社員との交流会では、働くことの楽しさや仕事の厳しさを学ぶことで、市内企業への就職意識を醸成させる。</p> <p>合同企業説明会等</p> <p>合同企業説明会への動員参加では、学生の就活状況や企業の採用状況などを把握し、県外大学を訪問では、就職支援協定の締結や就職支援状況等の情報交換を行った。</p> <p>社会人U・Iターン就職推進事業</p> <p>3社の企業訪問や移住支援情報提供及び生活環境確認のプログラムをご家族と一緒に確認し、U・Iターンへのモチベーションを高める。</p> <p>U・Iターン就職者正規雇用促進事業</p> <p>U・Iターン者を正規雇用した企業へ奨励金を交付することで、U・Iターン者の市内企業への就職を促進する。</p>
30年度事業実績	<p>大学生U・Iターン就職推進事業</p> <p>ふくいU・Iターンサマーキャンプ：参加者数 県外大学生12名(うち県内出身者9名)</p> <p>企業訪問ツアー：参加者数 県外大学生8名、県内大学生10名(うち県内出身者17名)</p> <p>合同企業説明会等：合同企業説明会(京都、東京、名古屋、福井、大阪)参加学生 約800名</p> <p>就職支援協定締結大学 法政大学(6月1日)、駒澤大学(11月15日)</p> <p>社会人U・Iターン就職推進事業</p> <p>参加者 求職者20名 うち、9名が市内企業に就職した。(2019.3現在)</p> <p>U・Iターン就職者正規雇用促進事業：交付数 9件</p>

#### 2. 外部点検の結果

提案内容	<p>(魅力発信)</p> <p>福井の企業で働くことの魅力、福井で生活していくことの魅力を発信するコンテンツ、大学生の中でも話題になるくらいのコンテンツをつくる必要がある。</p> <p>(所属連携)</p> <p>プロジェクトチームなどを作って、役割分担を明確にし、力強く展開をしていった方がいいのではないか。</p> <p>(マッチング力)</p> <p>インターンシップとして複数の企業について仕事を学べる機会を提供しているところがある。そのような取り組みがあってもいいのではないかな。</p> <p>(ふるさとへの愛着)</p> <p>定住促進のためには、中高生のうちからふるさとへの愛着心などを高めていくことが重要。</p>
------	--

(目標値)

目標値について、視点を変えて、税収など経営的な観点で設定することも必要。

#### 3. 外部点検結果に基づく対応

提案を踏まえた具体的な取り組み内容	<p>市まち未来創造課において福井の魅力を発信するために実施している「福井魅える化プロジェクト」や、当課の事業である社会人U・Iターン就職推進事業の「週末就活」において、参加者の家族に福井の住環境のよさを実感してもらうためのプログラム「生活環境確認」といった、関係所属が持つコンテンツを積極的に情報共有し、連携して福井で働くことや生活することの魅力を発信している。また、県外の大学と就職支援協定を締結し、福井で働く魅力を発信している。</p> <p>市東京事務所との連携を中心に、県Uターンセンターとも連携を図りながらU・Iターン就職促進に取り組んでいる。また、平成27年度からは、福井労働局との雇用対策協定により、地元就職を強力に支援している。さらに、庁内移住関係所属会議に参加し、各担当分野の情報を共有するなどして、市内への移住や、市内企業への就職を促進するため各所属と連携しながら支援している。</p> <p>平成27年度(企業訪問ツアーは平成28年度)から、ふくいU・Iターンサマーキャンプや企業訪問ツアー等、異なる業種の企業に複数回訪問し、市内企業で働くことの理解を深める事業を展開している。</p> <p>学生に市内企業を知ってもらい、福井での就職を考えてもらうきっかけとなることを目的とした、企業パンフレットのコンテストを平成29年度から30年度に市内の高校及び大学で実施した。また、教育委員会が行っている小中学生の職場見学・就業体験について、企業に事業周知を行う等キャリア教育を推進している。</p> <p>就職促進事業は、市内企業の就労者の増加を図るための事業であり、税収などの観点による目標値の設定は困難である。しかし、今年度から他事業において、参加企業から参加費を徴収する等、事業の収支状況を考慮した実施方法をとっているものもあり、今後も事業の内容等勘案した上で、可能であれば導入を促進していく。</p>
-------------------	---

#### 4. 当初予算額

(単位：千円)

	令和2年度	令和元年度	増減
予算額	大学生U・Iターン就職推進事業 2,500	大学生U・Iターン就職推進事業 2,300	200
	負担金 2,500		
	社会人U・Iターン就職推進事業 2,061	社会人U・Iターン就職推進事業 1,921	140
	広告料 810		
	委託料 118		
	使用料 495		
	負担金 590		
	旅費 48		
	U・Iターン就職者正規雇用促進事業 0	U・Iターン就職者正規雇用促進事業 1,000	1,000
	補助金 0		
	旅費 233	旅費 144	89
	合計 4,837	合計 5,365	571

令和元年度外部点検結果に基づく対応

06 有害鳥獣対策事業

( 農林水産部有害鳥獣対策室 )

1 ．事業概要

事業目的	有害鳥獣による農作物被害や生活被害を減少させることを目標としている。 また、捕獲した有害獣の利活用について有効利用に向けて取り組む。		
事業概要	有害鳥獣による生活被害や農業被害を防止するため、侵入防止柵の設置に対する支援や有害鳥獣の捕獲や追払い、捕獲後の処理に対する支援を行っている。		
30 年度 事業実績	部局マネジメント実績 有害鳥獣による農業被害金額： 13,759 千円                      シカの捕獲頭数： 410 頭 イノシシの捕獲頭数： 593 頭    カラスの捕獲羽数： 912 羽 侵入防止柵の総延長（累計）： 1,318km                              ジビエ普及イベント開催数： 4 回		

2 ．外部点検の結果

提案内容	（地域力） 集落単位での取り組みがモノを言うので、地域力を高める取り組みをしていく必要がある。住民への指導や教育、研修などにより意識の転換を図っていかないと被害は減っていかない。
	（目標設定） 農業被害額の目標設定について、長期的には被害額をゼロにしていかなければならない。 （ジビエの流通） ジビエとしての流通について、グループ単位のような規模なところから展開を考えてみてはどうか。 （シカ、サル、カラス対策） シカ、サル対策は後手に回らないように対策をお願いしたい。 カラス対策では、ごみステーションのレベルが違うのが問題。関係課へきちんと指導や補助をするように働きかけをしてほしい。

3 ．外部点検結果に基づく対応

提案を踏 まえた具 体的な取 組内容	鳥獣害対策は、住民が主体となり、集落ぐるみで行うことが有効であることから、地元説明会や出前講座、獣害の相談の機会に集落全体で組織的に取り組むことの重要性を周知し、協議会の設立をさらに促していきたい。
	また、集落住民に対して組織的に取り組む事例などを参考に研修を行うとともに、捕獲のみでの被害軽減は困難なことから、市民が自ら実施できる、「野菜くずや生ゴミを捨てない」、「収穫しないカキなどの放任果樹を撤去する」、「集落周辺の潜み場となる藪の刈り払い」といった生息環境対策の啓発に努める。
	被害金額を減らすよう、被害額の多い集落の対策を検証し、額の削減に努める。 また引き続き、侵入防止柵の支援や有害鳥獣の捕獲などを行い、長期的に被害額が 0 になるよう対策を進める。
	ジビエイベントや給食でのジビエの提供を行い、食する経験を通じて引き続き普及に取り組む。 また、シカ、イノシシの加工施設について、小規模でも設置を考えているグループ等があれば支援する。 シカ用の高さのある侵入防止柵の支援や、サルの群れ調査などを行い被害防止に努める。 また、大型サル檻を導入している市町の事例を研究するなど、個体数管理について調査を行う。 カラスのエサ対策として、ごみステーションの適正な管理を、環境担当など関係所属を通じて働きかける。また、市街地での鷹を使った追払いの効果調査や生息数調査を通し、有効な追払い方法の研究を行う。

4 ．当初予算額

( 単位：千円 )

	令和 2 年度		令和元年度		増減
予算額	1	有害獣被害防止対策事業 補助金	8,980 8,980	1 有害獣被害防止対策事業 8,800	180
	2	有害獣捕獲推進事業 委託料 備品購入 補助金	8,520 7,580 90 850	2 有害獣捕獲推進事業 6,200	2,330
	3	捕獲有害獣処理対策事業 委託料 報償費	33,700 30,420 3,280	3 捕獲有害獣処理対策事業 20,000	13,700
	4	ジビエ普及推進事業 消耗品費 手数料	286 264 22	4 ジビエ普及推進事業 250	36
	5	有害鳥獣駆除対策事業 委託料 手数料 負担金 備品購入 消耗品	6,779 6,400 11 18 190 160	5 有害鳥獣駆除対策事業 6,789	10
	6	みんなで取り組む鳥獣に負けない 集落づくり事業 報償費 負担金	57 10 47	6 みんなで取り組む鳥獣に負けない 集落づくり事業 57	0
	7	新鳥獣害対策連携事業	0	7 新鳥獣害対策連携事業 30	30
	合計		58,322	合計 42,126	16,196

令和元年度外部点検結果に基づく対応

07 商店街活性化支援事業

( 商工労働部商工振興課 )

1 . 事業概要

事業目的	商店街を取り巻く環境は、消費の低迷、郊外への大型店舗の進出、ネット商取引の拡大などにより、大変厳しい状況におかれている。 また、経営者の高齢化により、商店街の加盟店は減少しており、商店街の自主財源のみでは集客につながる事業の実施が困難となっていることから、商店街が実施する魅力向上を目的とする。
事業概要	商店街が実施する魅力向上を目的としたハード・ソフトの取り組みに対し支援を行う。
30 年度 事業実績	街路灯 L E D 化事業 ( 交付先 ) 鷹匠町商店街振興会 ( 内 容 ) 街路灯 8 基 タペストリー改修事業 ( 交付先 ) サンロード北の庄商店街振興組合 ( 内 容 ) 商店街通り沿いのタペストリー 4 0 枚の改修 北陸新幹線開業に向けた消費拡大事業 ( 県補助事業を活用 ) ( 交付先 ) 福井市片町商店街振興組合 ( 内 容 ) 路上融雪装置用設備の改修 商店街通り沿いの防犯カメラ 9 台の改修、1 台新設

2 . 外部点検の結果

提案内容	( 支援のあり方 ) やる気のある人に補助したり、商店街の合併を促したり、根本的にやり方を変えていかなければならないのではないか。 ( 商店街ごとのブース ) まつりに商店街ごとのブースを作るとか、そういった取り組みが必要ではないか。 ( 加盟のメリット ) 商店街に加盟しているメリットが感じられない。メリットを示すものや伝える機会があるとよい。 ( 駐車場 ) 商店街で駐車場を確保するために、支援を行えないか。 ( 地域の安全 ) シャッター開けているだけでも、子どもの通学路などの安全貢献になる。シャッターは開けておいてほしい。 ( ソフト面の支援 ) ハード面での支援は他の部署でも行っている。商工振興課としてはソフト面での支援を行って欲しい。
------	--

3 . 外部点検結果に基づく対応

提案を踏 まえた具 体的な取 組内容	<p>商店街の活性化のためには、やる気のある人や商店街に支援することは重要だと考える。現在福井市商店街連合会が実施する合同展示販売会において、商店街の魅力ある個店を P R することで、商店街全体を活性化する取組を実施していることから、この取組をさらに強化するよう支援する。</p> <p>また、商店街の合併については、商店街の意思が最も重要であると考えている。合併の意思がある商店街がある場合は、合併によるメリット、デメリットを整理し、しっかりとサポートしていく。</p> <p>現在商店街は、福井フェニックスまつりの協賛行事として、各商店街でイベントを実施している。各商店街の賑わいが大元の目的であることから、今後も各商店街でのイベント開催に注力して支援していく。</p> <p>商店街に加盟しているメリットは、共同で販促イベントなどを実施できることや様々な店舗と協力することで人の流れをつくり、様々な客層を取り込めることである。また、活力ある商店街の事例を各商店街に紹介するなどして、商店街加盟のメリットを商店街を通じて発信していく。</p> <p>駐車場整備を含め、商店街に来ていただきやすい環境づくりに各商店街が取り組む場合は、県の補助制度等を活用しながら支援をしていく。</p> <p>シャッターを開けたり照明をつけたりするには、各店舗の人手などの事情も考慮する必要がある。今後も、賑わいのある商店街作りのため、意欲のある担い手や魅力あるテナントを呼び込むことにより、子どもの安全対策に貢献できるよう商店街を支援していく。</p> <p>より商店街の活性化に繋がる支援を実施するため、商店街利用者の利便性の向上を図ることに特化した取り組みに対し、ハード整備を含めて支援していく。他部局の支援制度では、商店街が実施主体になれない場合がある。</p>
-----------------------------	---

4 . 当初予算額

( 単位 : 千円 )

予算額	令和 2 年度		令和元年度		増減
	商店街活性化支援事業	2,100	商店街活性化支援事業	1,140	
	補助金	2,100	補助金	1,140	
	合計	2,100	合計	1,140	

令和元年度外部点検結果に基づく対応

08 福井フェニックスまつり・ふくい春まつり開催事業

( 商工労働部商工振興課、おもてなし観光推進課 )

1 . 事業概要

事業目的	産業振興、観光振興、中心市街地振興を図るとともに、市民の一体感を醸成するため、福井の夏の恒例行事であるフェニックスまつりを開催する。 足羽川の桜並木を観光資源として活用し、ライトアップやまちなか・足羽山でのイベントを通し、県外からの観光誘客を図っていくことを目的とする。
事業概要	当事業は、各行事を行う主催者等で構成する福井でフェニックスまつり実行委員会が実施する、福井フェニックスまつりの開催に対し支援を行う。 平成31年度で第34回開催を迎えた。事業開始当初は市民を中心に楽しむまつりであったが、足羽川桜並木や足羽山公園の桜が「日本さくらの名所100選」に選定されることなどにより全国的にも認知され、県外からも観光客が訪れるまつりへとようになってきた。
30年度事業実績	<p>主体行事</p> <p>【福井フェニックス花火(8月3日(金) 会場：足羽川河川敷)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観客数 約85,000人</li> <li>・内容 交通の利便性が高いまちなかで開催しており、「全編音楽花火」として、音楽と掛け合わせながら様々な花火を打ち上げた。</li> </ul> <p>【民踊YOSAKOIイッチョライ(8月4日(土) 会場：中央大通り)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観客数 約51,000人</li> <li>・内容 民踊・YOSAKOIを中心とした「踊り」を軸に、神輿や太鼓を実施することで、参加者だけでなく観客も楽しめる内容とした。また、会場を以前のフェニックス通りから中央大通りへ移転した。</li> </ul> <p>【100万人のためのマーチング(8月5日(日) 会場：福井市営競輪場)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観客数 約4,800人</li> <li>・内容 マーチングバンド、パトントワリング、チアダンスなどそれぞれのチームの様々な演技が披露されるとともに、総勢350人での「はびねずダンス」が合同演技として披露され、会場が一体となって盛り上がった。</li> </ul> <p>協賛行事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区納涼民踊大会</li> <li>・FBCサマーフェスタ</li> <li>・第43回福井フェニックスまつり書道展</li> <li>・あったかさフォトコンテスト</li> <li>・福井市シルバー人材センターふれあいまつり</li> <li>・福井市商店街おまつり広場</li> <li>・第32回ぺんたワイワイ夏まつり</li> <li>・福井城址お堀の灯り</li> <li>・第23回ふくい祇園まつり</li> </ul> <p>第33回ふくい桜まつり【入込客数】226,000人</p> <p>第34回ふくい桜まつり【入込客数】233,000人</p>

2 . 外部点検の結果

提案内容	<p>(マンネリ化)</p> <p>マンネリ化しないように。</p> <p>(実行委員会)</p> <p>実行委員会の開催が遅いのではないかな。</p> <p>はたちのつどいの実行委員会のメンバーを加えてはどうか。</p>
------	---

	<p>(浴衣コーナー)</p> <p>飛び入りの人に浴衣を着せるコーナーがあってもよいのではないかな。</p> <p>(主導)</p> <p>商工会議所主導になっているのではないかな。福井市主導でもいいのではないかな。</p> <p>(パンフレット)</p> <p>パンフレットにはクーポンをつけると、それを持って回るのでもいい。</p> <p>(地区行事)</p> <p>各地区趣向を凝らして祭りを行っているのだから、研究して参考にして欲しい。</p>
--	---

3 . 外部点検結果に基づく対応

提案を踏まえた具体的な取り組み内容	<p>北陸新幹線福井開業を見据えて見直し検討会議を実施している。見直しの1つとして、体験・参加型のイベントを取り入れることでまつりの魅力と満足度を高めることとし、本年度は新たに「こども水まつり」や「The Show Time」といった体験・参加型イベントを実施した。引き続き新たなイベントを取り入れつつ、既存の行事を工夫、改善していく。</p> <p>(フェニックスまつり) 実行委員会は、2、3月は前年の事業報告並びに同年開催概要及び予算、6月は開催内容を審議している。これは、市の予算とそれを受けた事業計画作成のスケジュールを踏まえたベストのタイミングで設定しているものであり、担当者会議など実行委員会以外での各担当者間連携を更に綿密に行い、まつりの円滑な実施につなげていく。</p> <p>(春まつり) 昨年までは、11月頃に実行委員会を開催していたが、県外への情報発信を早い段階から積極的に行っていくため、第35回に向けては実行委員会を8月に開催し、まつりの時期・概要についての方針を協議・決定し、9月より旅行会社との商談会や各種イベントにおいてふくい桜まつりにかかる情報発信を積極的に行っている。</p> <p>まつりに若い方の意見を取り入れることは大変重要だと考えている。はたちのつどいの方々を含めて、若い方の意見を取り入れるなど、まつりの魅力向上につなげていく。</p> <p>浴衣の貸し出しは、インバウンド対応の面からも有効だと考えており、着付けや浴衣の貸出を協力していただける方と協議するなど、実施に向け検討していく。</p> <p>まとめ役は、市と商工会議所のどちらが主導しているということではなく、大切なパートナーだと考えており、今後も相互の役割や強みを活かして、まつりを実施したい。</p> <p>パンフレットにクーポンをつけるということについては、商工会議所・福井観光コンベンションビューローと協議を進める中で、どのようなものをクーポンとすると良いのかなどハードルは高いかもしれないが、福井市内での消費を高めるためにも、今後考えて行きたい。</p> <p>各地区のまつりの状況について、実施者の意見を聞き取るなど、現状を把握し、まつりの魅力向上につなげていく。</p>
-------------------	---

4 . 当初予算額

( 単位：千円 )

	令和2年度	令和元年度	増減
予算額	<p>福井フェニックスまつり事業 36,000</p> <p>補助金 36,000</p> <p>合計 36,000</p>	<p>福井フェニックスまつり事業 36,000</p> <p>補助金 36,000</p> <p>合計 36,000</p>	<p>0</p> <p>0</p> <p>0</p>

	令和2年度	平成30年度	増減
予算額	<p>ふくい桜まつり開催事業 49,032</p> <p>第35回開催負担金 31,000</p> <p>第36回広報負担金 6,500</p> <p>第35回足羽川桜並木ライトアップ 9,500</p> <p>足羽山ぼんぼり補助金 1,272</p> <p>足羽川ぼんぼり補助金 760</p> <p>合計 49,032</p>	<p>ふくい桜まつり開催事業 39,069</p> <p>第34回開催負担金 22,917</p> <p>第34回広報負担金 4,620</p> <p>第34回足羽川桜並木ライトアップ 9,500</p> <p>足羽山ぼんぼり補助金 760</p> <p>足羽川ぼんぼり補助金 1,272</p> <p>合計 39,069</p>	<p>10,963</p> <p>10,963</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>0</p> <p>10,963</p>